

2017年日本語能力試験について

1. 目的

日本国内及び海外において、原則として日本語を母語としない者を対象として、日本語能力を測定し、認定することを目的とする。

2. 主催者

独立行政法人国際交流基金、公益財団法人日本国際教育支援協会

3. 試験の実施

国内においては、公益財団法人日本国際教育支援協会が、海外においては、独立行政法人国際交流基金（台湾においては、公益財団法人日本台湾交流協会と共催）が現地共催機関の協力を得て実施する。

4. 試験の方法、内容等

(1) 対象 原則として、日本語を母語としない者

(2) 試験日

第1回試験：2017年 7月2日（日）

第2回試験：2017年12月3日（日）

(3) 実施地

① 国内

第1回試験：全国47都道府県

第2回試験：全国47都道府県

② 海外（2016年実績）

第1回試験：31の国・地域の119都市

第2回試験：69の国・地域の217都市

(4) 実施レベル

第1回試験：N1～N5

第2回試験：N1～N5

(5) 試験の構成及び認定の目安

各レベルの試験科目の構成及び認定の目安は、別表のとおりとする。

5. 出願の手続き等

(1) 国内

◆インターネットによる申込み

① 受験料：5,500円（消費税を含む）

② 受付期間：

第1回試験 2017年3月29日（水）から4月28日（金）17時まで

第2回試験 2017年8月31日（木）から9月29日（金）17時まで

③ 出 願：公益財団法人日本国際教育支援協会の日本語能力試験ウェブサイトからMyJLPTに登録後にMyJLPTの「受験申込み」画面から申し込むこと。

◆郵送による申込み

- ① 願 書：所定の受験案内（出願書類付き）を購入
- ② 受 験 料：5,500円（消費税を含む）
- ③ 受付期間：
第1回試験 2017年3月29日（水）から4月28日（金）（当日消印有効）まで
第2回試験 2017年8月31日（木）から9月29日（金）（当日消印有効）まで
- ④ 出 願：日本語能力試験受付センターに郵便局の窓口から「特定記録郵便」で送る。

(2) 海外

- ① 願 書：所定のもの、またはオンライン（一部の実施地）
- ② 受 験 料：独立行政法人国際交流基金が現地共催機関と協議の上、決定する。
- ③ 受付期間：独立行政法人国際交流基金が現地共催機関と協議の上、決定する。
- ④ 出 願：現地共催機関が指定する方法

6. 合否の判定と結果の発表等

- (1) 合格点と基準点により、レベルごとに合否を判定する。判定結果は、受験者全員に合否結果通知書をもって通知するとともに、合格者には日本語能力認定書を交付する。
- (2) 日本語能力認定書及び合否結果通知書は、国内分については、第1回試験は2017年9月上旬、第2回試験においては2018年2月上旬に送付する予定である。海外分については、各現地共催機関を通じて発送するため、各受験者に届くのは、第1回試験は10月上旬、第2回試験は3月上旬の予定である。国内分のインターネットによる申込者については<<http://info.jees-jlpt.jp/>>で第1回試験については2017年8月下旬、第2回試験については2018年1月下旬に本協会の日本語能力試験ウェブサイトで見ることができる予定である。海外分については<<http://www.jlpt.jp/>>を参照のこと。
- (3) 独立行政法人日本学生支援機構の主催による日本留学試験が実施されていない国・地域で受験する者で、日本の大学・短期大学・専修学校への留学を希望する者の成績については、合否結果の通知後、当該大学・学校からの照会があった場合には、公益財団法人日本国際教育支援協会を通じて通知する。
- (4) 海外で日本語能力試験を受験する者で、一般財団法人日本語教育振興協会の維持会員または一般社団法人全国日本語学校連合会の会員である日本語教育機関への入学を希望する者の成績については、当該日本語教育機関からの照会があった場合に、同協会または同連合会を通じて国際交流基金より通知する。

試験科目の構成及び認定の目安

文字・語彙・文法といった「言語知識」と、読む・聞くといった、その言語知識を利用してコミュニケーション上の課題を遂行する能力を、「言語知識」「読解」「聴解」の3つに分けて測ります。

レベル	試験科目	試験時間	認定の目安
N 1	言語知識（文字・語彙・文法） ・読解	110分	幅広い場面で使われる日本語を理解することができる 【読む】・幅広い話題について書かれた新聞の論説、評論など、論理的にやや複雑な文章や抽象度の高い文章などを読んで、文章の構成や内容を理解することができる。 ・さまざまな話題の内容に深みのある読み物を読んで、話の流れや詳細な表現意図を理解することができる。 【聞く】・幅広い場面において自然なスピードの、まとまりのある会話やニュース、講義を聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係や内容の論理構成などを詳細に理解したり、要旨を把握したりすることができる。
	聴解	60分	
N 2	言語知識（文字・語彙・文法） ・読解	105分	日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる 【読む】・幅広い話題について書かれた新聞や雑誌の記事・解説、平易な評論など、論旨が明快な文章を読んで文章の内容を理解することができる。 ・一般的な話題に関する読み物を読んで、話の流れや表現意図を理解することができる。 【聞く】・日常的な場面に加えて幅広い場面で、自然に近いスピードの、まとまりのある会話やニュースを聞いて、話の流れや内容、登場人物の関係を理解したり、要旨を把握したりすることができる。
	聴解	50分	
N 3	言語知識（文字・語彙）	30分	日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる 【読む】・日常的な話題について書かれた具体的な内容を表す文章を、読んで理解することができる。 ・新聞の見出しなどから情報の概要をつかむことができる。 ・日常的な場面で目にする難易度がやや高い文章は、言い換え表現が与えられれば、要旨を理解することができる。 【聞く】・日常的な場面で、やや自然に近いスピードのまとまりのある会話を聞いて、話の具体的な内容を登場人物の関係などとあわせてほぼ理解できる。
	言語知識（文法）・読解	70分	
	聴解	40分	
N 4	言語知識（文字・語彙）	30分	基本的な日本語を理解することができる 【読む】・基本的な語彙や漢字を使って書かれた日常生活の中でも身近な話題の文章を、読んで理解することができる。 【聞く】・日常的な場面で、ややゆっくりと話される会話であれば、内容がほぼ理解できる。
	言語知識（文法）・読解	60分	
	聴解	35分	
N 5	言語知識（文字・語彙）	25分	基本的な日本語をある程度理解することができる 【読む】・ひらがなやカタカナ、日常生活で用いられる基本的な漢字で書かれた定型な語句や文、文章を読んで理解することができる。 【聞く】・教室や、身の回りなど、日常生活の中でもよく出会う場面で、ゆっくり話される短い会話であれば、必要な情報を聞き取ることができる。
	言語知識（文法）・読解	50分	
	聴解	30分	